

女

佐々木信綱

病いえていでゆを歸る少女子の

馬につけたり山百合のはな

村長のはなよめ君のさとがへり

荷馬ついできてはるの風吹く

夫やみて沖にいでがたしいつより

松魚つる舟はほきこのころ

春の歌の中に
ろする

今朝みれば庭の櫻もちりはて、

昨日にかはるあを山のと

春興
秋影

樂しきは幼き子らを引きつれて

すみれつみにと野に出でし時

看護婦
印東音鳴

やみし人の只何よりうれしきは

みとりする人の情なりけり

説林

動物愛憐と教育

本多増次郎



今日、皆さんの前に出て、御話する事を得ます
るは、私のまことに光榮とする所で御座ります、
併しながら、私は皆さんに向つて御話をする様な、
専門的の智識は御座りませぬのです、只だ一つ従
來研究して居ります所が御座りますから、本日
は夫に付いて御話を致して見たいと考へます。
夫は即ち動物愛憐と教育といふことであります。